平成23年9月25日 (第87号)

るはとっとり



第3回「キッズカフェ」 開店風景



■寄稿

- チームワークと「一致団結」
- 一円を笑うものは一円に泣く
- 3 年目の新事業(平成23年度中小企業人材確保推進事業)



表紙の説明

第3回「キッズカフェ」

開催日:平成23年2月6日(日) 会 場:パレットとっとり

この事業は、社団法人鳥取法人会の社会貢献活動で、青年部会員が推進役として毎年実施しているものです。

商売を通して、青少年育成と「税」の大切さの勉強を目的にしています。日進 小学校6年生28名が、接客の仕方、商品の値付、商品の作り方等を指導を受けて、 商売をして、75,400円の売上がありました。



23.2.6 第3回「キッズカフェ」 報道カメラマンより撮影を受ける



23.2.25 租税教室 日進小学校6年生 2月6日開催の第3回「キッズカフェ」売上、損益、税金の勉強 講師 西谷昌彦 鳥取税務署 税務広報広聴官 様

目 次

表紙の説明2	税務署からのお知らせ 14~15
麒麟獅子3	3年目の新事業 16~19
新鳥取税務署長 「着任あいさつ」 4	我が社のホープと会社PR20~21
平成23年度 通常総会・講演会 5	女性部会のページ 22~23
平成22年度 収支決算・平成23年度予算書…6	青年部会の広場 24
平成23年度 事業計画 … 7	福利厚生のコーナー (大同生命)25
平成23年度 表彰の方々 8	新入会員さん 26
平成23年度 役員名簿 9	法人会からのお知らせ・
平成23年度 6委員会名簿10	鳥取税務署異動・編集後記 27
寄稿 チームワークと「一致団結」・・・・・・ 11	裏表紙広告 (大同生命) 28
寄稿「一円を笑うものは一円に泣く」· · · · · 12~13	

『麒麟獅子』



大震災 ~「あの日」以降~

広島であの日といえば8月6日であり、神戸であの日といえば1月17日であり、日本全体ではいままであの日といえば8月15日であった。第二次世界大戦を境に戦前戦後という分け方をしてきたが、戦後からすでに60年以上が経過し、2011年3月11日が今後の日本の新たな区切りとなるのかもしれない。

その「あの日」、私は偶然にも東京に日帰りの予定で出張していて、永田町のとあるビルで震災の時をむかえた。外へ出ると交通機関は全てストップしており、大量帰宅難民の一人となったのである。

頼みの綱の2台の携帯電話は、D社携帯は不通で使い物にならず、一方A社携帯のほうは、発信は不可能であったが受信が可能で、情報を得られ助けられた。店内の商品が売り切れ寸前になったコンビニでチョコレートを買い、秩序が保たれた大行列の一員となり、品川方面へ歩くこと3時間。キャンセルが出たホテルに宿泊することができ(ジャンケンで勝ち抜いて!)、翌朝一便で無事に鳥取空港へ帰ってくることができた。鳥取へ戻ってきてから、時間を追うごとに次々と明らかになる東北の惨状を見て、都市の帰宅難民など一瞬の問題であり、大したことではないと気付かされた。一日も早い東北の復興と原発事故の終結を祈りたい。

さて、21世紀になり日本の人々のライフスタイルや消費行動は、インターネットの普及やグローバル化より大きく変わってきていた。いまから数年後に「あの日」を境に、さらに変わったと思うことが多くあるだろう。今は復興対策と原発問題に、歴史的な円高や長期にわたる消費低迷が追い打ちをかける。消費行動は、仕事や出世より家庭に重きをおくライフスタイルや、エコ志向に磨きがかかってくると思われる。それに対応して、復興需要とは別に震災以降に、自然エネルギー関連、放射能対策関連、エコ関連、情報関連、海外進出関連等で、多くの新ビジネスが加速して勃興してきており覇権を争っていると感じる。企業経営者としては、お客様に喜ばれ利益を上げていくことには何ら変わりがないが、そのためには「あの日」以降の時代に柔軟に対応し、変わっていけるかが試される。

国も復興対策優先で他の大問題が棚上げになってきたが、社会保障改革・税制改革・公務員改革などは、復興資金をひねり出す上でも早急に取り組むべきではないだろうかと思う。政争ばかりで嫌気がさすが、首相も変わった。組織論では「軍隊を全滅に導く確率の最も高い将は、能力が無くてやる気のある将である」と言われる。今度の首相もそうでないとよいけれど・・・。あら、うちの社内からも聞こえてこなきゃいいがと、ひやひやしているのはどなたですか?(笑) (2011年9月 GALAXY)



着任のあいさつ

鳥取稅務署長 大 庭 明 夫

この度の人事異動により、鳥取税務署長を拝命しました大庭でございます。

清水会長をはじめ役員並びに会員の皆様方には、平素から税務行政に対しまして深いご理解と 多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私の出身は、島根県鹿足郡津和野町(旧 日原町)で、鳥取県内での勤務は初めてでございます。

趣味はウォーキング(山登り)です。着任すぐ、久松山に登り、山頂からの鳥取市内の景色、 鳥取砂丘の雄大さに感動しました。鳥取県には、名所、旧跡や名山もたくさんあり、ウォーキン グや登山が休日の日課となりそうです。

前任の天野署長同様よろしくお願いいたします。

鳥取法人会におかれましては、「よき経営者をめざすものの団体」として、「キッズカフェ」、「法人会まつり」や会員のニーズに即した数多くの研修会の開催、著名人を招いての講演会の開催など社会貢献活動を通して、税知識の普及と納税道義の高揚のための活発な活動を展開しておられると伺っております。

これは一重に、清水会長はじめ役員の方々、並びに会員の皆様方が一致協力してご尽力された賜物であり、深く敬意を表する次第でございます。

さて、最近の内外経済や我が国の財政に目を転じますと、甚だ明るい展望を申し上げにくい状況となっております。

また、税務行政を取り巻く環境を見ましても、益々厳しくなっており、こうした状況の中、与 えられた人的、物的資源を効率・効果的に活用するため、事務の一層の合理化・効率化を図りつ つ各種の施策に取り組んでいるところであります。

こうした施策のひとつとして、e-Taxの普及・拡大がございます。本年5月の定期総会の場で、広島国税局長からの感謝状を贈呈させていただきましたが、鳥取法人会におかれましては、目標値を設定し、利用拡大に積極的に取組んでいただいているほか、fe-Tax推進モデル企業」を企画され、「職場内でのe-Taxによる確定申告」を実施されるなど、鳥取県内の法人会を牽引する法人会として、e-Taxの普及拡大活動にご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

我々といたしましては、本年1月に本格導入されました e L T a x (e-T a x の地方税版) ともども、より一層の普及・拡大に向けて取組んで参りたいと考えておりますので、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

いずれにいたしましても、私どもは、「適正・公平な課税の実現」に向けて努力をしてまいる所存でございますので、法人会の皆様方におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、社団法人鳥取法人会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝並びに事業のご繁栄を祈念申し上げまして、私の着任の挨拶とさせていただきます。

平成23年度

第32回通常総会・記念講演会開催

平成23年5月26日(木)とりぎん文化会館第一会議室



広島国税局長感謝状の受賞(天野鳥取税務署長より清水会長受ける)

平成23年5月26日(木)午後1時30分より、来賓10名・会員130名が出席して、第32回通常 総会が開催されました。

本年度の総会は、通常の議案に加えて公益法人移行申請の決議と定款の変更・役員改選の承認の可決をしました。又、イータック推進に対して広島国税局長感謝状が天野英己鳥取税務署長より贈呈がありました。

議案審議後、退任者に対しての感謝状6名、会員増強に対しての感謝状を4名と福利厚生制度に対しての感謝状を4名と1社に贈呈致しました。来賓の祝辞は、鳥取市長の代理森本幸範様 (総務部総務調整監)と天野英己鳥取税務署長様の2名にご挨拶を頂き、総会が終りました。

第二部の記念講演会は、鳥取青色申告会・鳥取間税会の共催、公益事業として会員以外へも呼びかけて、チラシ・ホームページ等により126名(内一般14名)の来場者となりました。

演題は、「成長を続ける強い組織に根付く「人」中心の経営者とは」講師は、松本晃氏(カルビー株式会社会長)。松本氏は、「採用する際、履歴書の学歴に左右されてはいけない。あれは毒。 自分の目で見極めるべき」と持論を交えながら「人」中心の企業作りを語った。



熱心に聴講される皆様

平成22年度 収支計算書

平成22年4月1日より平成23年3月31日

- (1	占	À	立	- 1	円	1
(브	벋	1	1/.			1

科目	予算額	決算額	差異	新事業
Ⅰ事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	10,000	10,000	0	
(2) 会費収入	12,494,000	11,927,600	566,400	
(3) 事業収入	1,010,000	642,500	367,500	
(4) 補助金収入	11,065,400	9,868,900	1,196,500	6,863,500
(5) 推進費収入	3,690,300	3,740,300	△50,000	
(6) 雑収入	811,000	667,433	143,567	
【事業活動収入計】	29,080,700	26,856,733	2,223,967	6,863,500
2. 事業活動支出				
(1) 事業費	20,191,000	19,810,751	380,249	8,644,845
(2) 管理費	8,114,500	7,314,676	799,824	1,890,000
(3) 法人税等引当支出	103,400	103,400	0	
【事業活動支出計】	28,408,900	27,228,827	1,180,073	10,534,845
【事業活動収支差額 A】	671,800	△372,094	1,043,894	
Ⅱ投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
【投資活動収入計】	0	1,850,000	△1,850,000	
2. 投資活動支出				
【投資活動支出計】	220,000	220,000	0	
【投資活動収支差額 B】	△220,000	1,630,000	△1,850,000	
Ⅲ予備費支出				
1. 予備費 D	3,432,507	0	3,432,507	
当期収支差額 $E = A + B - D$	△2,980,707	1,257,906	△4,238,613	
前期繰越収支差額 F	2,980,707	2,980,707	0	
次期繰越収支差額 E+F	0	4,238,613	△4,238,613	

平成23年度収支予算書(損益計算ベース)

平成23年4月1日より平成24年3月31日

(単位:円)

科目	予算額	新事業	科目	予算額	新事業
I 一般正味財産増減の部			管理費	2,425,900	369,000
1. 経常増減の部			【経常費用計(B)】	28,779,600	11,450,000
(1)経常収益			【当期経常増減額(A-B)】	△659,100	
基本財産運用益	3,000		2.経常外増減の部		
受取会費	11,000,000		法人税、住民税及び事業税	81,000	
事業収益	877,000		当期一般正味財産増減額	△740,100	
受取補助金	14,782,500	7,630,000	一般正味財産期首残高	10,083,273	
受取負担金	752,000		一般正味財産期末残高	9,343,173	
雑収益	706,000		Ⅱ指定正味財産増減の部		
【経常収益計(A)】	28,120,500	7,630,000	受取全法連助成金	6,782,500	
(2) 経常費用			一般正味財産への振替額	△6,782,500	
事業費	26,353,700	11,081,000	Ⅲ正味財産期末残高	9,343,173	

平成23年度 事業計画

平成23年4月1日から平成24年3月31日

I. 事業計画の基本方針

新公益法人制度のもと平成23年度、「公益法人」認定申請に取組む。

- 1. 税知識の普及、納税意識の高揚に努め、税制・税務に関する提言を行い、もって適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与する。
- 2. 税ならびに会社経営に関する研修会の推進を図り会社の質を高める。
- 3. 会員の積極的な自己啓発を支援し健全な企業経営を進め、企業の繁栄を図る。 また、地域の一員として地域に密着した活動を進め、社会の健全な発展に貢献する。

Ⅱ. 主な事業計画

- 1. 公益目的事業の推進
 - (1) 税務研修相談事業
 - 年5回開催の決算税務説明会
 - 年2回開催の新設法人税務説明会
 - 年2回の会報発行・ホームページ等による税の広報
 - イータックス懸垂幕の掲揚(毎年2月~3月)
 - 年末調整説明会の共催
 - 税制等の冊子の配布・その他税務研修会の開催
 - 電子申告(イータックス)の利用促進
 - 役員企業100%、会員企業90%の利用目標を目指す
 - (2) 和税教育事業
 - 租税教室への講師派遣(青年部会)
 - 第4回「キッズカフェ」開催による租税教育(青年部会)
 - 第2回「絵はがきコンクール」の実施(女性部会)
 - 毎年2月開催の全法連主催「税制委員セミナー」の参加
 - (3) 税制提言事業
 - 税制委員会による税制改正要望の取りまとめと上申
 - 税制行政の円滑化を図るための要望等を関係当局に陳情し、その実現に努める
 - 全国大会・税制改正要望大会への参加~ 10月6日(木)神奈川大会
 - (4) 広報事業
 - ホームページの充実 ~ 会員紹介・イベント紹介利用促進
 - 法人会パンフレット作成(新事業)
 - 会報年2回発行・「ほうじん」年4回配布
 - 「税を考える週間」(11/11~11/17迄) の事業の開催
 - (5) 社会貢献事業
 - 第3回「法人会まつり」・企業の展示会の開催(昨年に続き新事業)
 - 第4回「キッズカフェ」開催による青少年の育成(青年部会)
 - 献血ボランティアの実施(女性部会)
 - 智頭支部「花の苗」寄贈
 - (6) 経営支援事業
 - 講演会・セミナーの実施

(親会:2回 女性部会:2回 青年部会:4回 支部:8回)

○ 新入社員研修会 4/8開催(鳥取商工会議所・鳥取県経営者協会の3社共催)

平成23年度 表彰の方々 るめ

~退任者に対しての感謝状~



小林 英明 様 (鳥取電業(株))



田村達之助 様 (㈱田村紙店)



山本 窈毅 様 (山口電業㈱)



登 様 今川 (株)今川紙器)



治郎丸 康様 (扶桑興業㈱)

~会員増強に対しての感謝状~ (会員獲得 5 社以上の方々)



山中 英雄 様 (株)情報サービス鳥取)



山本 孝夫 様 (何)山本孝夫会計事務所)



福田 眞一 様 (㈱福田眞一会計事務所)



辰己 泰彦 様 (株)ドゥーベスト保険事務所)

~福利厚生制度に対しての感謝状~



上村 康隆 様 (大同生命保険株))



小林千代美 様 (大同生命保険株))



青滝亜矢子 様 (大同生命保険(株))



藤原 建二様 (大同生命保険株))



泰彦 様 (AIU保険 代理店 (株)ドゥーベスト保険事務所)

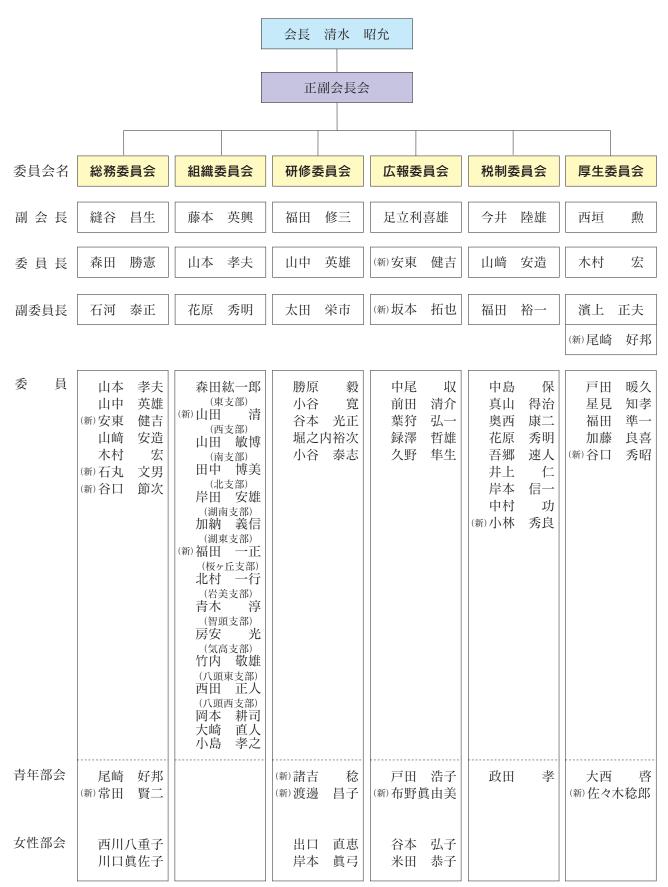
(社) 鳥取法人会 役員名簿

(任期:平成23年5月26日~25年総会迄)

職名		役員名	会 社 名	職名		役員名	会 社 名
会 長		清水 昭允	(株)清 水	理事		勝原 毅	㈱勝原製作所
副会長		藤本 英興	鳥取信用金庫	"		川口真佐子	㈱川口義治商店
副会長		今井 陸雄	大山日ノ丸証券(株)	"		岸田 安雄	(有)エイダン事務機
副会長		足立利喜雄	(旬)足立わたふとん店	"		岸本 信一	㈱岸本会計事務所
副会長		縫谷 昌生	(株)トリベイ	"		北村 一行	北村衣縫街
副会長		福田 修三	(株)インテリアフクタ	"		木村 宏	社会福祉法人あすなろ会
副会長		西垣 勲	東洋交通施設(株)	"		田中 博美	㈱白兎設計事務所
常任理事		安東 健吉	日本海テレビジョン放送(株)	"	新任	谷口 節次	鳥取いなば農業(協)
"		石河 泰正	㈱鳥取銀行	"	新任	中尾修治郎	㈱中尾税経総合事務所
"		太田 栄市	(株)トータル・エナジー	"		西川八重子	鳥取末広座㈱
"		岡本 耕司	大同生命保険(株)	"		葉狩 弘一	葉狩税理士事務所
"		小谷 寛	(制亀甲や	"		花原 秀明	三洋製紙(株)
"		谷本 光正	(株)谷本酒店	"	新任	福田 一正	(有福田建機
"	新任	石丸 文男	㈱山陰合同銀行	"		堀之内裕次	三洋電機コンシューマ エレクトロニクス(株)
"		中尾 収	(制太陽アパレル	"		前田 清介	㈱因州屋
"		中島 保	グッドヒル(株)	"		森田紘一郎	(制温泉旅館 丸茂
"		濱上 正夫	日本海信販(株)	"	新任	諸吉 稔	(株)ティエスピー
"		真山 得冶	日ノ丸自動車(株)	"		山﨑 安造	(有)山﨑会計事務所
"		森田 勝憲	(旬森田印房	"		山本 孝夫	(有)山本孝夫会計事務所
"		山中 英雄	(株)情報サービス鳥取	"		米田由起枝	街アカウンティングセンター
理事		青木 淳	(旬)青木製材			録澤 哲雄	録澤税理士事務所
"		吾郷 速人	(有)池本会計事務所	監事		井上 仁	(有)井上会計事務所
"		奥西 康二	㈱奥西	"		福田裕一	(有福田会計事務所
"		尾崎 好邦	山陰プロパン瓦斯(株)	"	新任	小林 秀良	山口電業(株)

社団法人 鳥取法人会 委員会 組織表

(任期:平成23年5月26日~25年総会迄)



チームワークと「一致団結」

(株)アルティスタ人材開発研究所 代表 玄間千映子

なでしこジャパン、よかったですね。ちょっとヒヤヒヤでしたけれど、ともかく、ロンドンには行けることになりました。このところ湿りがちな日本の空気を活気づけてくれる存在として、強く応援したいものです。

ところで、興味深いのは、その勝因についての彼女たちのコメントです。皆、『団結力』と、いうのです。『チームワーク』とはいわないのですね。そう、この2つは、似て非なるもの。その違いは、一人ひとりの『思い』が見えるか、見えないか。

『個』が集まると、チームができます。チームワークとは「『個』が集まって、何かをすること」なのですね。ちょうど一人ひとりが手を繋いでいるような状態。

ところが『団結』というのは、『団』状態に結ばれているわけですから、もっと強固です。いうなれば、団子状態。団子状態には、もう、『個』の面影なんて微塵もありません。

サッカーコートにいるのが11人だとしたら、22個の目、22本の手、22本の足があるわけですが、一 糸乱れなく、勝利というゴールに向かって突き進むには、頭は一つであることが必要です。

ここが、11個の頭で動く『チームワーク』と違う点です。11個も頭があると、いろいろな見方ができるから、一見、良さ気です。ですが、そのことはバラバラな判断基準を持っていることでもあり、『一糸乱れなく』とはいきません。

日本の強みは『団子状態』になれること

そういえば、日本の経済力が世界の中でも強かった80年代の頃まで、盛んにいわれていたのが、『会社は家族』ということでした。社長という司令塔の下で、それこそ『一糸乱れず』、一丸となって活動する。こういう行動が、抵抗なくできることが日本組織の強みといわれました。「私のプライベートはどうなる?」などという声よりも、ともかく「みんなでガンバロウ」という声の方が大きくなるのです。『個』というのは、1つ、2つと数えられるように、元々、バラバラな存在です。バラバラでこそ、『個』なのです。それをまとめようとチームとしても、団子状態にまでなれるわけがありません。団子状態になることは、『個』を主張していることを善としているアメリカでも、真似しようと苦労してい

ところで、人々が集まって団子状態になれるには、何より掲げた目的への一人ひとりの強い『思い』が必須です。今回、なでしこはその思いの強さが11人の間で共有できていた。それを促したのはキャプテンの生半可ではない、強い思いであったことは確かなようです。肝心なのは、この『思い』を皆が受け止めることができるかどうかです。

目線を揃えて『頭』を1つに

ることなのです。

これって、会社も同じこと。いくら、社長が会社のことを熱く語っても、それを聞く社員が他人事としてしまっては、とても、団子状態にはなれません。組織は上の立場になればなるほど、職種に拠らず外の攻めに力をいれていくものです。当然、内側の守りは弱くなる。その内側が、いうなれば部下の守る空間です。

この、外側と内側。区別がつきにくいようだったら、経営の三資源『人・もの・金』から眺めましょう。去年と同じことは内側の担当、ちょっと異質だなということがあったら外側の担当と眺めます。 内側といえども、外で生じていることを我のこととして、受け止めることが必要です。もちろん外側も同じです。そうすると、自ずと目線が揃って『頭』は1つになるのです。

[筆者紹介]

玄間千映子(げんま・ちえこ) (㈱アルティスタ人材開発研究所代表。國學院大学卒。米インマヌエル大学大学院卒後、米スタンフォード大学ビジネススクール修了。財団法人日本船舶振興会(現日本財団)役員、国会議員各秘書を経て1994年に前身の(有)アルティスタを設立し代表に。2006年現社名に改組。日本大学大学院非常勤講師、(財)港湾空間高度化環境研究センター監事などを兼任。著書に「ジョブ・ディスクリプション一問一答」「リストラ無用の会社革命」など。

「一円を笑うものは一円に泣く」

-金融メルトダウン時代、生きた資金の使い道を考えよう―

経済評論家・作家 荒 和 雄

メルトダウンに入った金融情勢

昔から「一銭を笑うものは一銭に泣く」といわれているが、現代では「一円を笑うものは一円 に泣く」といいかえることができる。金融メルトダウンといわれている今日、企業も個人も元気 になるには、カネを工夫し、考えて使うことが大切だ。

現在の金融情勢は、超低金利政策の中で、カネは有り余っているようにみえながら、実際には、 カネが必要な企業や個人には十分に回ってこない。

一昨年末に成立した中小企業金融円滑化法によって、金融庁の検査基準たる「金融検査マニュ アル」は、表面上は、銀行経営保護から取引先保護へと大きく変わり、中小企業の資金繰りは一 見「返済猶予」という名のもとに解決されたかにみえる。

しかし、貸付の基本原則である「債務者格付」制度はまったく変わっておらず、この足かせが あるため、金融機関は貸したくとも貸せないという厳しい状態が続いている。例えば、連続的な 赤字を計上する取引先などについては追加融資ができない。

その一方で、金融機関側は、集まった預金の運用方法として、大半を一見、安全性が高く、一 定の利鞘が稼げる国債投資に振り向けている。

しかし、その国債も、日本国の借金が年々増加したため、海外の格付機関から再三にわたって 「格下げ」の評価が下され、その安全度が問題視されてきている。「国債の安全性」に関する不安 と、バブル時代の不良債権の残骸が重なって「金融メルトダウン」の原因となっている。

カネは上手に使ってこそ国家にも、企業にも個人にとっても、生きた形で戻ってくる。ところ が、最近の日本はこの循環装置が一時的に止まってしまっている。また、景気低迷のため積極的 な資金需要は発生しにくい状況下にある。加えて債務者格付制度が重なって企業資金の貸付等に 十分回らなくなっている。これが景気回復、日本再生の足かせになっている。

日本国債は、米国債の引き受けが中国や日本等の外国であるのと違い、自国(日本)の金融機 関が引き受けているので、安全であるという説がある。しかし、いま、その国債の引き受け手で あった個人の金融資産も目減りを始め、将来も国債を引き受け続けてくれるかは大いに疑問が出 てきた。ここに金融メルトダウンの原因がある。

資金不足は工夫不足

こうした循環不全の中で、企業はどう資金計画を立てていくかが問題となる。

第一は、計画を立てて、資金不足の最大の要因となる「無駄な資金」を徹底的に排除し、それ を着実に実行することだ。

第二は、企業でも個人でも考えて有効に使ってこそカネは、生き生きとした力を持つ。そのた めには、近い将来、大きなビジネスチャンスとなって戻ってくる前向きの資金計画を作り、それ に使うことだ。売上げの増加は、この不況期に一挙に上がるものではない。しかし、種まきをお

ろそかにすると、利益という果実はかえってこない。

企業にとって前向きの資金としては次のものが考えられる。

①研究開発費②ビジネスのマッチングを通しての売り上げ増加のための資金③インターネットの時代を迎えてホームページの充実・インターネット上のセールスの拡大販促資金④人材育成・開発資金。

いつの時代でも、企業経営の基本は人材の開発・育成である。特に中小・中堅企業はこの人材の育成と確保が次の大きなステップには欠かせない。

個性溢れるバイタリティのあるトップ、そのトップを支えるナンバー2や補佐役の存在が、生き残れるか、廃業・倒産するかの分かれ目となる。特に高齢化した経営者においては、後継者を含む人材の選定・育成が大切で、そのためには生きた金を投資すべきである。

地域の絆を深め、地域再生のための資金も不可欠である。自分だけ、自社だけ生き残ればよい という考えは、もはや現代では通用しない。そのための資金を積極的に捻出したい。

積極的な資金の生み方・活かし方

企業」の姿を見せる必要があろう。

さて次にこうした資金の調達に関して一考したい。

まず借入金に頼らず、トップをはじめ幹部は自己資金の確保、いいかえると増資を行うことである。

そのためには、公私混同の根絶、経理・財務の公開、すなわち、経理・財務などの経営情報に 関して、幹部と社員との情報の共有化が不可欠である。

第二は、自己資金の充実に際して限界があるなら、社長をはじめ一族の株主から私募債を含む 借入金を求め、きちんとした返済計画を立てることが大事であろう。

第三は、日頃から取引している金融機関に足を運び、前向きな資金であることを強調し、具体的な事業計画を示して、その資金調達への支援を求めることである。金融機関の支店長、融資課長も人の子、国債だけに依存する資金運用よりも、地元企業の再生に耳を傾ける人もいるはずだ。 そのためには、支店長らに工場を訪問させ、また会社のオフィスにも訪れてもらい、「魅力ある

金融機関側も、国債という安全神話に溺れることなく、日本再生のため、中小企業への資金を多少のリスクを負っても挑戦することが必要がある。

カネは生かしてこそ、本当の価値があることを、企業側、金融機関側も肝に銘じるべきである。

【筆者紹介】

荒和雄(あら・かずお) 早稲田大学法学部卒。東京都民銀行支店長などを経て独立。経済評論家・作家として講演やテレビのコメンテーターなどで幅広く活躍。金融経済・中小企業経営関係の著書は「日本縦断2000回講演の旅ちょっといい話」(中経出版)。最近では、挑戦する若き金融マンを描いた経済小説「白い獏」が話題となっている。著書は161冊を超える。公式HPはhttp://www.arakazuo.com

始めよう簡単・便利な「ダイレクト納付」



今月は、源泉所得税と消費税 の納付があって 10 日と月末で 2回も銀行に行かなくちゃいけ ないんだよな~

今日は、朝一番で会社を出発 したのにもういっぱいの人だよ 10 人待ちだって・・・トホホ



〇月 10 日の出来事



2

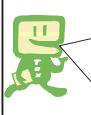
インターネットにつながって るパソコンがあれば良い方法が ありますよ~。

「ダイレクト納付」を利用す れば銀行に行かなくても会社で 簡単に納付の手続が出来るんで す。

だから、時間の節約が出来ま すし、納付期日の指定も出来る から忘れることなく安心でとっ ても便利なんですよ~。

ふ~ん・・・ でも難しいんじゃないの~?



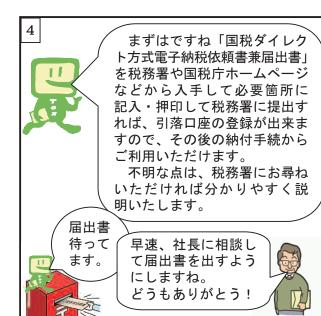


いえいえ、源泉所得税なん かは、毎月、手で書かれてい る徴収高計算書をパソコン で入力して、その後は簡単な クリック操作と日付などの 入力をするだけで、すぐに出 来ますし、本当に簡単なんで すよ~。

しかも、手数料等は一切不 要ですしね。

へぇ~簡単で便利というの なら、やってみるかな。 それでどうすればいいの?





社長の皆様

「ダイレクト納付」をご利用いただくと事務の効率化・経費の節約ができて利便性が必ず アップします。

会社のためお早めに登録いただきご利用くださいますようよろしくお願いいたします。

【お問合せ先】

〒680-8541 鳥取市富安二丁目 89 番 4 鳥取税務署 管理運営部門 (Tel 0857-22-2141) (上記電話にダイヤル後、ガイダンスに従って「2」を押してください。)



収入印紙の交換と印紙税の還付について

- 収入印紙を現金に交換することはできません。
- O 貼り付けた部分を切り取ったり、用紙からはがしたりしたもの は交換や還付を受けられません。

収入印紙の交換

郵便局では、未使用の収入印紙や白紙又は封筒等に貼り付けられた収入印紙と他 の収入印紙との交換を行っていますので、これらの収入印紙を郵便局へご持参の 上、ご相談ください。

なお、交換の際には1枚につき5円の交換手数料(10円未満の収入印紙についてはその半額)が必要となります。

【交換の対象となるもの】

① 未使用の収入印紙

汚れた収入印紙や損傷している収入印紙は、偽造防止等の観点から交換の対象となり きせん。

- ② 次のような客観的に見て明らかに印紙税の課税文書でないものに貼り付けた 収入印紙
 - 白紙又は封筒
 - 行政機関に対する申請・届出の際に提出する申請書等の文書 (登記申請書や旅券(パスポート)引換書など)

租税や国の歳入金の納付に用いられたものは交換の対象となりません。

※ 高額な収入印紙については、一旦お預かりする場合があります。

印紙税の還付

税務署では、契約書や領収書などの印紙税の課税文書に誤って過大に収入印紙を 貼り付けてしまったような場合には、過誤納金として還付を行っていますので、収 入印紙が貼り付けられた文書を税務署(法人課税部門(間接諸税担当))へご持参 の上、ご相談ください。

【還付の対象となるもの】

- ① 請負契約書や領収書などの課税文書に貼り付けた収入印紙が過大となっているもの
- ② 委任契約書などの課税文書に該当しない文書を課税文書と誤認して収入印紙を貼り付けてしまったもの
- ③ 課税文書の用紙に収入印紙を貼り付けたものの、使用する見込みのなくなった もの

契約書を作成した後にその契約が解除・取消されたものや、既に交付された領収書、 手形などは還付の対象となりません。

※ 高額な収入印紙については、一旦お預かりする場合があります。

職場環境改善、雇用管理改善を目指して最終年度事業スタート

~中小企業人材確保推進事業~

「中小企業人材確保推進事業」がいよいよ最終年度を迎えたため、事業の成果を見極め、職場環 境改善、雇用管理等の新たな事業展開に結びつけるために下記の事業を計画しました。

1. 平成23年度中小企業人材確保推進事業の概要

事業項目	実施時期	概 要				
	年次計	画策定・調査事業				
事業検討委員会	年4回	事業運営を検討するとともに法人会のビジョンを策定する。親会、青年部会、女性部会の約10名程度で構成する。				
事業主意識調査	10月	最終年度における成果を検証するために事業主に対して定 着動向、採用意識について調査を実施する。				
フォローアップ調査	1月	事業の取組の状況及び成果を把握し次年度事業への取組を 検討する。				
	安定	色的雇用確保事業				
会報発行	9月・3月	事業の概要を掲載し、法人会活動の理解を高める。				
リーフレット作成	9月	法人会の事業概要を掲載したリーフレットを作成配付する。作成部数4,000部				
法人会会員展示会	11月	法人会会員に参加を募り、「第3回法人会まつり」を開催する。販売コーナー、企業紹介コーナー等を設置				
		職場定着事業				
全体セミナー	5月	全体セミナーを開催する。				
支部セミナー	7月~9月	各支部実施のセミナーを支援する。				
青年部会セミナー	6月~2月	年間8回計画により、企業活性化、職場環境改善等のテーマによりセミナーを開催する。				
女性部会セミナー	5月・9月	従業員の高齢化に対応して労働意欲、体力・精神力の強化に 関するセミナーを開催する。				
	モデル事業普及活動事業					
支部合同セミナー	2月	支部全体として雇用改善に係る課題について研究する。				
分析検討委員会	2月	事業の成果と今後の対応策について検討する。				

2. 第1回人材確保検討委員会の開催

第1回の人材確保検討委員会を6月9日(木) 鳥取商工会議所会館において委員12名の参加に より開催し、平成23年度事業計画・広報誌作成・ セミナー、調査等の実施方法について協議し、具 体的な年間計画を検討した。

特に、最終年度において確固たる成果を上げ るための取り組みをどのように展開するか意見 交換を交えて開催した。



(最終年度の事業内容検討)

3. セミナー開催状況

(1) 支部事業活動におけるセミナー実施(雇用管理改善セミナー)

前期の雇用管理改善セミナーとして、各支部が中心となって7回実施した。

(7月8日/岩美支部)



演題:「雇用管理体制等のトラブル解消法」

場所:鳥取県岩美町「明石屋」 講師:上田 雅捻氏(弁護士)

(7月26日/西・南支部)



演題:「職場内のコミュニケーション能力と従

業員満足度アップの方法」

場所:鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」 講師: 荒尾 千春氏 (フリーアナウンサー)

(8月2日/智頭支部)



演題:「雇用管理体制等のトラブル解消策」

場所:鳥取県八頭郡智頭「林新館」

講師:上田 雅捻氏(弁護士)

(7月20日/北・東支部)



演題:「働く意識の改革のための従業員管理法」 講師:鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」 講師: 奥村 幸治氏 (NPOベースボールスピリッツ理事長)

(7月27日/桜ヶ丘・湖東・湖南支部)



演題:「職場内のコミュニケーション能力と従

業員満足度アップの方法」

場所:鳥取市「ホテルモナーク鳥取」

講師:西村 貴好 代氏((有) C`S 代表取締役)

(8月3日/気高支部)



演題:「職場環境と労使関係の改善について」

場所:鳥取市気高町「旅風庵」

講師:三ツ國 全代氏(社会保険労務士)

(8月8日/八頭西支部)



演題:「不況下の雇用維持と経営維持の方法」

場所:鳥取市河原町「ことぶき」

講師:加藤 勉氏(帝国データバンク支店長)

(2) 青年部会活動におけるセミナー実施(雇用管理改善セミナー)

雇用管理改善セミナーとして、青年部会が中心となって前期に4回実施

第1回(6月22日)





演題:「賃金をめぐるトラブル対策解消策」

場所:鳥取市「パレット」

講師:山下 靖夫氏(社会保険労務士)



演題:「賃金・退職をめぐるトラブル事例研究」

場所:鳥取市「パレット」

講師:中村 栄一氏(司法書士)

第3回 演題:「従業員のモチベーションアップのための管理方法」

講師:松田 寿一氏(産業カウンセラー)

日時: 9月14日(水)14:00~15:00 場所:鳥取市「鳥取商工会議所会館会議室」

第4回 演題:「時代にそくした職場環境の見直しと注意点について」

講師:山下 靖夫氏(社会保険労務士)

日時: 9月22日(木)19:00~20:15 場所:鳥取市パレットとっとり

(3) 女性部会活動におけるセミナー実施(雇用管理改善セミナー)

演題:「高齢者労働社会において働ける身体作りと精神作り」

講師:柳本 有三氏(神戸常磐大学保健科学部 看護学科教授医学博士)

日時: 9月13日(火)15:00~16:30 場所:鳥取市「鳥取商工会議所会館 大会議室」

4. リーフレットの作成(団体広報誌の作成・配付)

鳥取法人会では、会の事業内容及び概要を広く周知させるため独自のリーフレットを作成した。 作成部数 4,000部



5. 鳥取法人会まつり開催のご案内

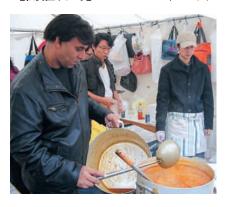
第3回法人会まつり ~ 「とっとり 食の祭典」~

~11月6日(日)鳥取市賀露「わったいな」にて開催予定~

食文化と国際交流、そして法人会活動や会員企業紹介も兼ねた、今年度最大のイベントです。

【開催場所】 鳥取市賀露 地場産プラザ「わったいな」 とりっこ広場

2011年11月6日(日)10:00~16:00 【開催日時】



【イベント内容】

- ①食の国際交流「世界の屋台村」 (オープニング:外国の舞踊) 鳥取大学の留学生、国際交流財団等の協力により、鳥取の食 材を使った世界の屋台村をオープン
- ②貝がら投げ DE 食プレゼント 貝がらを投げて景品をゲットしよう。「世界の屋台村」の料 理購入で参加券を進呈します
- ③外国の舞踊

オープニングに鳥大留学生、国際交流財団等の協力により、世界の民族舞踊を披露

- ④「揚げたてアツアツ!鳥取がんもどき」無料試食 先着800名様に鳥取の食材で作った揚げたてアツアツの 「青年部手作りがんもどき」を無料配布
- ⑤「とうふるーと」演奏&作り方講座 鳥取の名産品「とうふちくわ」の笛演奏とみんなで作ります ⑥展示・PRコーナー
- 鳥取法人会、鳥取税務署、各種マスコミ、鳥取県等による展 示・PRコーナー



か社のホープと会社PR ②血液型 ③趣味 の トヨかこの -

①名前 ②血液型 ③趣味 ④上司からのコメント ⑤会社住所 ⑥業種 ⑦我が社のP·R



株式会社 優遊良品

①木戸 千晶 (きど ちあき)

DATA ② B型

③ お笑い

④ 仕事を始めてまだ日が浅いので、先輩スタッフに教えて もらいながらの仕事ですが、早く一人前になりたいと努力し ている姿を見て、皆、初心に戻って『頑張らないと』とファイト をもらいます。

早く一人前になって、他のスタッフとともに、優遊良品を盛り 立ててくれればと期待しています。

会社の概要

- ⑤ 鳥取県鳥取市上味野15 TEL 0857-30-4999
- ⑥ 平成18年3月(株)ファイナールで通信販売開始 平成23年3月 ファイナール100%子会社 株式会社優遊良品として独立
- ② 27年続く健康茶・健康食品製造会社「ファイナール」の販売部門を2011年3月に株式 会社優遊良品として設立。昔より飲まれていた健康茶から新素材を取り入れた最新の健康 茶まで様々なお茶を販売しています。女性5名、男性1名という少人数ですが、電話応対 から商品出荷、販促物作成、企画など全てをこなすパワフルスタッフが勢ぞろい。一人ひ とりが健康生活のアドバイザーとしてお客様をサポート出来るよう、日々努めています。





受電風景

さらっとたま茶

鳥取砂丘大粒紅花らっきょう

public relations

山陰東陽化成衛





①清水 康一 (しみず こういち)

DATA ② B型

③ 野球・釣り

④ 我が社の命運は彼にかかっているとも言えるスー パーマンです。

学生時代に野球で培ったパワーで何でも解決、新しい事 にも多感にチャレンジしてくれます。

益々の活躍期待しています。

①小林 香織 (こばやし かおい)

DATA ② AB型

③ 旅行

④ 雑務から重要な書類まで幅広く全般に頑張ってく れています。

ねばり強く慎重な仕事ぶりの姿勢は、頼りになる存在で す。18才の元気印の娘から益々美しい女性に変身成長 しています。



会社の概要

- ⑤ 鳥取市浜坂4丁目666-2 TEL 0857-26-5421
- ⑥ 創業 昭和58年7月設立

現在資本金 2,500万円

12名 従業員数

営業品目 防水工事、塗装工事、建築工事

とび土工業、管、屋根、内装仕上(7業種建設業許可取得)

⑦ おもに特殊性を持つ専門防水、塗装の工事業です。

住宅の屋根・外壁の塗装、防水対策、既存・新設の建物、コンクリート構造物の耐久強化など確 かな技術で鳥取を中心に中国区域全般を幅広く営業展開しています。



● 平成23年度 女性部会定期総会 開催 ● ●

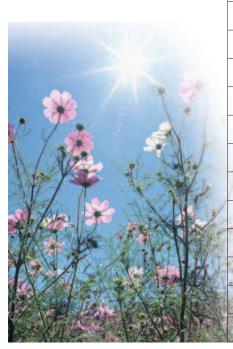
平成23年5月19日(木)

白兎会館にて、鳥取税務署より天野英己鳥取税務署長をはじめ、福利厚生担当保険会社各支社 長、 支店長の方々を来賓にお招きし、女性部会定期総会が開催されました。平成22年度事業報 告・活動費内訳報告、23年度事業計画・活動費内訳が報告され、役員改選では、谷本弘子部会長 他下記の役員の方が任命されました。また新事業として、本年度より社会福祉法人への古タオル の寄贈を決定しました。



▲再任された谷本弘子部会長の挨拶

平成23年度 役員名簿



部会役職	氏 名	会 社 名
部 会 長	谷本 弘子	㈱谷本酒店
副部会長	西川 八重子	鳥取末広座㈱
副部会長	川口 眞佐子	㈱川口義治商店
副部会長	米田 恭子	鳥取オート街
理事	加藤 陽子	㈱フレックス・モス
理 事	岸本 真弓	(有)岸本家畜病院
理 事	出口 直恵	(有)プラスペリティ
理 事	西垣 由喜恵	(有)サービスタクシー
理 事	村山 貴美子	(有)村山板金工作所
理 事	(新) 木山 千秋	(有)海裕漁業
理 事	(新) 西村 鈴子	山陰東陽化成衙
理事	(新)森田 麻知子	(有)東葉緑化園



一般の方を含めた講演会風景(30名)

橋本 佳苗 氏 ㈱ドリームランチャー 代表取締役

総会後は講師に橋本佳苗氏をお招きし、「部下をもったら身につけたい"明日から使える"実践 コーチング」という演題で講演がありました。

全国でコーチング・研修セミナー・人材育成コンサルティングなどで活躍されており実践にも とづくお話は大変興味深いものでした。ティーチングとは教えること、コーチングは相手に質問 を投げかけ自分自身で考え答えをだせるように導いてあげることという違いを学びました。講師 からされた質問を皆さんに答えてもらうスタイルで気軽に参加しやすい雰囲気で楽しく聴講しま した。またユーモアいっぱいの大阪弁で教えて頂き会場の参加者の皆さんは笑顔あふれていまし た。このたびは、一般の方からも参加されました。

平成23年7月7日 つくし館

7月恒例となりました会員卓話を、今回は理事の出口直恵さんにしていただきました。

40年前は東京で仕事されており、当時は大変ご多忙でいらっしゃったとの思い出話や仕事を 通してさまざまな経験をされたこと、また、美容師という専門的なお仕事をされている方たちの 意外な常識について教えていただきました。

お話後は、みなさんでおいしいお料理をいただき、会話もはずみ会員同士親睦を深めました。 事務局を含めて18名の参加。

〈募集〉 平成23年度 新事業開始

女性部会では、本年度より会員の皆様の協力を得て古タオル・古シーツ等の収集を始めました。 事務局へご持参いただくか、お電話いただければ受取へいきます。(9月7日現在 4名協力あり) 女性部会 担当 川上 美智子まで

Tel.0857-27-1604

平成23年度 第29回青年部会定期総会



青年部会卒業生と尾崎部会長



諸吉稔新部会長就任の挨拶

平成23年5月13日(金)青年部会の定期総会がホテルモナーク鳥取にて、会員34名ご来賓7 名出席頂き開催致しました。

平成23年度、50歳定年卒業者7名のうち3名出席頂き記念品の贈呈をした後、議案の報告と 役員改選があり、諸吉稔氏が新部会長へ就任されました。

来賓を代表して天野英己鳥取税務署長の挨拶を頂き会場を変えて、懇親会を盛大に開催致しま した。

平成23年度 青年部会 役員名簿

(平成23年5月13日~25年総会迄)

名	艾	聙	锁	氏	名	会 社 名	役 職	氏	名	会 社 名
部	会		長	諸吉	稔	(株)ティエスピー	広報副委員長	石田	博樹	日ノ丸印刷(株)
顧			問	尾崎	好邦	山陰プロパン瓦斯(株)	広報副委員長	田島	大介	(株)タシマボーリング
顧			問	大西	啓	(株)田村紙店	会員委員長	辰己	泰彦	(株)ドゥーベスト保険事務所
副	部	会	長	縫谷	忠生	日栄商事(株)	会員副委員長	山﨑	弘嗣	(株)愛進堂
副	部	会	長	吉田	智	(有)トータルフィット	会員副委員長	宮脇	英彰	(有)エスポアール
副	部	会	長	佐々オ	大稳郎	(有)宝月堂	会員副委員長	福本	優子	ラウンジ モンモ
副	部	会	長	戸田	浩子	(有)ギフトショップトダ	研修委員長	渡邊	昌子	(株)アビライズ
副	部	会	長	出口	敦教	(有)プラスペリティ	研修副委員長	布野	真由美	布野中小企業診断士事務所
総	務 委	員	長	常田	賢二	(有)常田薬局	研修副委員長	田中	寛之	侑寿 屋
総引	答副	委員	長	松村	将史	千谷茗風園	社会貢献委員長	清水	昭生	(株)清 水
総引	务副	委員	長	犬持	雅也	大同生命保険㈱鳥取営業支社	社会貢献副委員	南口	明彦	(有)南口石創
広	報 委	員	長	坂本	拓也	(株)セブンズデザインクラブ	社会貢献副委員	山根	大樹	(株)ツリーズ
広幸	報副	委員	長	門脇	秀星	門脇秀星企画事ム所	社会貢献副委員	中井	史生	(制アドセンターパル



『法人会福利厚生制度アンケート』 ご協力のお願い

拝啓 貴社ますますご隆昌のこととお慶び申しあげます。

平素は、当会の事業活動に格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、法人会では、公益法人としての「税務行政の円滑な執行に寄与し、企業経営の健全な発展と明る い地域社会の建設」という目的に加え、会員である中小企業の様々なリスクを補完する法人会独自の福利 厚生制度として、昭和46年に「法人会の経営者大型総合保障制度」を創設いたしました。以来、時代の ニーズに対応した制度内容の改訂を通じて、会員企業のみなさまにご支持をいただいており、おかげさま で本年、創設40周年を迎えることとなりました。

この40周年を契機に、とりわけご加入いただいていない会員企業さまに、広くご意見・ご要望を募るべ く、標記アンケートを実施させていただくことといたしました。

あわせて、平成22年10月1日に新しく導入された重大疾病(がん、急性心筋梗塞、脳卒中)にかかった 場合に備えるための制度で、保険金を生前に受け取ることができる」タイプ(無配当重大疾病保障保険) のご案内をさせていただきたいと存じます。

つきましては、福利厚生制度受託会社 (大同生命保険株式会社) の制度推進員が、会員のみなさまをご 訪問させていただきたく、事業ご多忙とは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようよろ しくお願い申しあげます。

なお、アンケートのご説明および新制度 Jタイプ (無配当重大疾病保障保険) のご案内に際しまして、会 員企業さまには、対面式(15分程度)にてご協力賜りたいと考えております。特にご多忙なお時間をご遠 慮させていただくにあたり、あらかじめ受託会社よりお電話にてご都合をお伺いさせていただきますの で、ご了承賜りたくお願い申しあげます。

末筆ながら、貴社のますますのご発展を衷心よりご祈念申しあげます。

敬具



今回のご案内



福利厚生制度受託会社(大同生命保険株式 会社)のオペレーターが、予めご都合のよい 日時をお伺いさせていただきます



ご指定の日時に福利厚生制度受託会社 (大同生命保険株式会社)の制度推進員が、 アンケートとJタイプ(無配当重大疾病保障 保険)のご案内にお伺いいたします



経営を力強くサポートする法人会

新入会員(45社) 23.3.2~23.8月末

会 社 名	代 表 者	業種	会 社 名	代 表 者	業種
《東支部》			《桜ヶ丘支部》		
(株)サルビア	奈良 成二	保健衛生業 (整骨院)	医社団 橋本外科医院	橋本 英宣	医業
	岩城 賢一	建設業	(株)B-RISE	吉原 直敏	オートバイ販売
《西支部》			(有)ワールド印刷	吉田 辰夫	印刷業
社会保険労務士法人MOYORINO	三ツ國全代	社会保険労務士業	ホンダ山陰中央㈱ 鳥取桜ヶ丘店	吉田 秀治	自動車販売・部品
行政書士法人 MOYORINO	中嶋 健雄	行政書士業	㈱和架	山根美恵子	建築・設計
《南支部》			《岩美支部》		
(株)Abe-Rise	渡邊 昌子	サービス業 (記帳・事務代行)	福興丸漁業㈱	生越 裕之	漁業
(㈱エフエム山陰 鳥取支社	今岡 弘義	民間ラジオ放送	㈱寳海水産	板倉 善美	漁業
《北支部》			㈱昇運水産	板倉 寛寿	漁業
(株)THE NATURES	上田 和宜	衣服小売業	(有)鈴木衛生社	岡村 則男	清掃業
 何鷲見デザイン	田中 恵美	デザイン業	《八頭東支部》		
旬アカデミア	鈴木 晶子	教育	石原システム侑	石原 一美	産業用 機械器具製造業
(株)赤松商会	安食 義人	電気通信工事	中原商事㈱	中原 次雄	文具・紙販売業
㈱太陽	加藤 寛	保険代理業	角かぐや	土橋 秀美	木材・竹材業
鳥取ウォーター(株)	富永健嗣	ミネラルウォーター 製造	 (有伊勢富工業	森木 潤	一般土木・建築
《湖南支部》			《八頭西支部》		
(有)丸一商事	佐藤みち子	パチンコ景品	(株)クラモチ	倉持 範幸	飲食業
(株)鳥取建材	山根 望	建材販売業	中重建設衛	中村 孝則	建設業
㈱優遊良品	森下 辰夫	食品販売	同春雛	寺谷はる子	福祉事業
《湖東支部》			《気高支部》		
(有)ビーアンドシーシステムデザイン	北山 政広	電気機械器具製造業	(有)米村木工	米村 安弘	運動用 木工製品製造
㈱鳥取オリコミセンター	田中章夫	オリコミ配送	日本光設衛	谷本 健	電気通信工事
鳥取朝日販売(株)	田中章夫	新聞販売業	㈱結円	小谷 英明	旅館業
(株)エムアンドエムドットコー	本山 博之	広告代理店	《智頭支部》		
(株)正東丸	船本源司	漁業	㈱光南	寺谷誠一郎	日本料理
ろくぢポンプ街	中川順義	管工事	同しろくま総務	木原 篤司	ファイナンシャル プランナー業他
侑かるだもん	根岸 拓人	飲食店	㈱久本管工	久本 幸広	管土木工事業
サンコネックス(株)	衣笠孝太郎	太陽光発電販売			

会員募集中!!!



) 事務局へご一報を! TEL.0857-27-1604

新しい会員をご紹介下さい。

入会されますと次のメリットがあります。

◎経営に差がつく ◎税の知識が身につく ◎人脈が広がる

税務説明会・講演会・社会貢献活動・機関紙などの配布・異業種交流など、さまざまな活動をと おして企業の発展をバックアップいたします。

~会員増強にはこんな制度があります~

〈奨励金〉 1社獲得につき、1000円のギフト券を贈呈 〈表彰〉年度内に5社以上獲得した個人を総会で表彰

法人会からのお知らせ

平成23年11月6日(日) 第3回「法人会まつり」 地場産プラザ「わったいな」

11月18日(金)「青年の集い」三重大会 三重県営サンアリーナ

11月15日 (火) ~18日 (金) 年末調整説明会 郡家・智頭・国府町中央公民館

12月8日(木) 県連·専務、事務局長会議 全法連会館(東京)

鳥取税務署人事異動のお知らせ(23.7.10付)

官職	新 任	前 任
署長	大庭 明夫 (広島国税局 総務部企画課長より)	天野 英己 (退 職)
副署長	森脇 光博 (大阪派遣国税庁監察官より)	笠原 弘孝 (広島国税局 調査査察部調査第二部門 統括官へ)
税務広報広聴官	山本 恵子 (広島東 資産課税部門統括官より)	西谷 昌彦 (庄原 総務課長へ)
総務課 課長補佐	平田 靖 (広島国税局 調査査察部調査第五部門調査官より)	木尾 武徳 (倉敷 管理運営第二部門統括官へ)
法人課税第一部門 上席調査官	岩谷 章男 (倉吉 法人課税部門上席調査官より)	柚木 宏文 (倉敷 法人課税部門上席調査官へ)

集一後一記 編

田村達之助広報委員長からバトンを受け、新しく広報委員長に就任いたしました。 今後ともご指導よろしくお願いいたします。

ところで3月11日、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の「東日本大震災」 が発生、この地震で東北地方をはじめとする広い範囲で強い揺れを観測、併せて大 規模な津波が襲い甚大な被害をもたらしました。この大震災は生産拠点の被災、電 力不足による部品などの供給停滞、消費の落込みなど日本の社会、経済に与えた影 響は大きくまだまだ復興への道は厳しいものがあります。

また、今年の7月24日、この震災を受けた東北3県を除く44都道府県のアナログ テレビ放送(地上・BS)が終了しデジタル放送に完全移行しました。58年に及ぶ アナログ放送は無事幕を閉じました。「東京タワー」も平成25年には墨田区に完成す る「東京スカイツリー」にテレビ送信の役目を譲ることになっています。

いよいよ完全デジタル化による「テレビ新時代」が到来しました。

広報委員長 安東健吉

社団法人 鳥取法人会

〒680−0031 鳥取市本町3丁目201番地

鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル2階

TEL 0857 (27) 1604 FAX 0857 (20) 0555 メール: hojin@toriho.com ホームページ: toriho.com

ご意見・ご要望をお待ちしております



経営者を取り囲むリスクは1つではありません。

まさに色々です。

だからこそ安心も色々必要です。

重責を担う経営者を守る、

幅広い保障を

ぜひお役立てください。

※保障の組み合わせには、所定の制限があります。保障内容について、詳しくは「設計書(契約概要)」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。

金0経営者大型総合保障制度

企業保障の

法人会会員のみなさまに

企業保障プラン 総合型②

(大同生命の定期保険+AIUのグループ傷害保険)

〈引受保険会社〉

D/IDO 大同生命

鳥取営業支社/鳥取市富安2-159(久本ビル4F) TEL 0857-22-2007



AIU保険会社

アイユーインシュアランス カンパニー http://www.aiu.co.jp/

鳥取支店/鳥取県鳥取市東品治町102(明治安田生命鳥取駅前ビル4F) TEL 0857-20-0081

- ◎この制度は、法人会の会員のみご加入いただける制度です。 ご加入後に法人会を退会された場合は、保険料率の引き上 げや損害保険部分の解約等のお取扱いとなることがあります。
- ◎この広告には、保険商品の内容のすべてが記載されているものではありません。ご検討・ご契約にあたっては、「設計書(契約概要)」「注意喚起情報」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。また、ご不明の点などございましたら、引受保険会社または取扱者にお問い合わせください。

(2011年3月現在)

F-22-1011①(平成23年3月3日)